

忠生中学校だより

げんとう かぜ
原頭の風

—2025年度 第12号—



2026年3月25日発行

子どもの数は命の数～生徒が主役で
笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

Fax 042 (791) 6514



素晴らしい卒業式でした！

校長 高橋 博幸

全国ニュースでは、桜の開花情報が聞かれる季節となり、季節は日増しに春に向かっていきます。

3月19日（木）、第79回卒業式が行われました。

卒業式の後半、わたしは卒業生の合唱に引き込まれるように聞き入っていました。見守る教職員も様々な思いを胸に聞いているようでした。3年生はどんな気持ちで卒業生合唱を歌ったのでしょうか。3年生の中にはこみ上げてくるものがあって思うように歌えない人がいたかも知れません。それでも保護者やお世話になった先生方、伝統を引き継ぐ2年生に3年間の思いを伝えきって胸を張って卒業して行きました。卒業後も自分自身をかけがえのない存在として誇りに思い、自分の個性や長所を大切に自分らしい生き方をしてほしいと願っています。



また、2年生の皆さんの卒業式での態度、姿勢は本当に素晴らしかったです。全校合唱「未来へ届け」はアリーナいっぱいハーモニーが響き、感動しました。卒業式が終わった後に会場の折りたたみイスやひな壇を、2年生はみんなで協力して予想外の早さで片付けたことに大変に驚きました。3年生が卒業しても2年生の皆さんは4月から最上級生として下級生を引っ張ってくれると確信しました。2年生の皆さん、本当にありがとうございました。

さて、今月号の挨拶は卒業式の「学校長 式辞」を紹介します。1年生の皆さんは当日、卒業式に出席していなかったので、ぜひ、読んでくださいね。



やわらかな春の日差しに、木々の芽も膨らみ、春の息吹を感じる頃となりました。本日は多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、第79回町田市立忠生中学校卒業式を挙行できますことを壇上からではありますが、心より厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。中学校3年間の全課程を終え、義務教育9年間を修了されました。忠生中学校での3年間、子どもたちは時に悩み、葛藤しながらも、様々な困難を乗り越えて立派に成長いたしました。これまでの本校教育への温かいご理解とご協力に、教職員を代表して深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございます。今、一人一人に手渡した卒業証書。それを受け取る皆さんの堂々とした姿に、心身ともに逞しい成長を感じ、目頭が熱くなる思いです。皆さんは伝統ある忠生中学校のリーダーとして、常に「自分たちの手でより良い学校を

創ろう」と、素晴らしいリーダーシップを発揮してくれました。特に学校行事で見せてくれた皆さんの情熱と団結力は、後輩たちの「道標」となる目覚ましいものでした。共に歩んだ行事の軌跡を振り返れば、皆さんの歩みには常に「挑戦」と「成長」がありました。

5月24日、天候にも恵まれた体育大会。実行委員が掲げたスローガン「気炎万丈」には、皆さんの熱い思いが込められていました。自分の学級だけではなく、他学年の競技にも全力で声援を送り、共に一喜一憂する姿は、まさに心が熱くなる光景でした。協力することの大切さを体現した皆さんの姿勢は、下級生への最高の手本となりました。

9月、行き先を「京都・滋賀の琵琶湖」へと変えて臨んだ修学旅行。これまでの校外学習での課題であった「時間意識」を克服するため、皆さんは「知行合一 ～過去を未来で繋ぐ旅～」というスローガンを掲げました。事前学習から班別行動の計画まで、一人一人が主体的に取り組みました。事後アンケートで9割以上の生徒が「時間を守れた」と回答した結果は、皆さんが自らの課題を自らの力で乗り越えた、確かな成長の証です。



そして、10月。相模女子大学グリーンホールでの合唱コンクール。「一音心奏～星座のような結束を～」のスローガンのもと、皆さんは究極のハーモニーを目指しました。練習の過程では、意見の衝突や不安に駆られることもあったでしょう。しかし、本番のステージで曲の意味を深く理解し、聴く人の心に届けようと一心に歌う姿、そして三年間の集大成として披露された圧巻の歌声は、会場にいた600名を超える保護者の方々や後輩たち、そして私たち教職員の胸を深く震わせました。皆さんの歌声には人を感動させ、幸せにする大きな力があります。そのことを、どうか生涯忘れないでください。

今日、皆さんは変化の激しい21世紀の担い手として、新たな進路へ旅立ちます。これから先、人工知能（AI）の進化や情報化が進み、これまでの常識が通用しない激動の時代を迎えることでしょう。そんな門出に際し、私は皆さんに「自分で判断して決めたことに責任をもつ」という言葉を贈ります。人生は選択の連続です。「何が正しいのか」「何をすべきか」を自分自身で考え、判断し、選択してください。そして、その結果に対して責任をもつこと。それが自立して生きるということであり、大人になるということです。

同時に、皆さんの心にある他者に対する「いたわり」の心を大切にしてください。人間は決して一人では生きられません。他人の痛みを感じる心や相手を思いやる優しさをもってください。科学技術がどれほど発達しても、それを制御し、良い方向に導くのは、皆さん自身の「豊かな人間性」です。皆さんが育ったこの町田市は、豊かな自然と温かな人のつながりに溢れた素晴らしい地域です。この恵まれた環境で受けた恩恵に感謝し、地域の一員としての自信と誇りをもって歩んでください。

同時に、皆さんの心にある他者に対する「いたわり」の心を大切にしてください。人間は決して一人では生きられません。他人の痛みを感じる心や相手を思いやる優しさをもってください。科学技術がどれほど発達しても、それを制御し、良い方向に導くのは、皆さん自身の「豊かな人間性」です。皆さんが育ったこの町田市は、豊かな自然と温かな人のつながりに溢れた素晴らしい地域です。この恵まれた環境で受けた恩恵に感謝し、地域の一員としての自信と誇りをもって歩んでください。

結びに、卒業生の皆さんの健やかで輝かしい未来と限りない前途を祝し、式辞といたします。

今年度の教育活動も本日をもって終了します。子供たちの健やかな成長を支えてくださっている保護者、地域の皆様方の温かなご支援、ご協力を心から感謝申し上げます。本月の挨拶とさせていただきます。1年間、本当にありがとうございました。

◎ いのちの授業（3年生）～命の大切さを学びました～

3月4日（水）10時からアリーナと多目的室で3年生が「いのちの授業」を行いました。

はじめに、町田市で活動している町田市助産師会の野口さんから「命の大切さ」についてのお話を伺いました。赤ちゃん抱っこ体験では、生徒は緊張した表情でしたが、赤ちゃんを抱っこするうちに優しく穏やかな表情に変わっていました。赤ちゃん抱っこ体験や妊婦体験を通して、命の大切さがよく分かりました。



今回、赤ちゃん親子ボランティアの皆さんが40名も来ていただきました。育児休業中の上田先生と小宮先生も赤ちゃんと一緒に参加して、貴重なお話をさせていただきました。3年生のみなさんは、自分の命や周りの人の命を大切に思う心が育ったと思います。講師の野口さんをはじめ、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

◎ 部活動等～忠生中学校生、活躍してます～

【敬称略】

☆卓球部

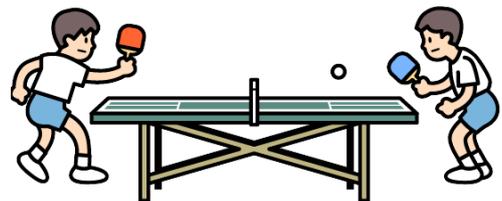
第2回町田市卓球ジュニア育成強化練習会

女子団体の部 準優勝

A. O (2-1) ・ S. T (1-1)
M. H (1-1) ・ R. K (1-2)
M. S (1-4) ・ A. S (1-6)

男子ダブルスの部 第3位

K. T (2-4) ・ N. S (1-6)



◎ 教職員の異動・退職について

【異動】

主任養護教諭 M. S 養護 世田谷区立八幡中学校へ
主任教諭 F. A 社会 八王子市立中山中学校へ
主任教諭 Y. K 社会 稲城市立稲城第六中学校へ
主任教諭 C. M 理科 八王子市立城山中学校へ
教諭 M. I 数学 八王子市立第一中学校へ
教諭 Y. K 保体 八王子市立いずみの森義務教育学校へ【中(体男)→中特(聴)】
臨時的任用教諭 N. M 特支 東京都立村山特別支援学校へ
臨時的任用教諭 H. S 英語 相模原市立麻溝台中学校へ
特別支援教室専門員 J. A 町田市立木曽中学校へ
特別支援教育支援員 M. Y 町田市立町田第三中学校へ
スクールカウンセラー H. K 町田市立鶴川第二中学校、金井中学校、鶴川中央小学校へ

【退職】

教諭 Y. Y 英語
非常勤教員 A. K 国語
スクールサポートスタッフ K. K
用務員 H. Y

